

報道関係者各位

2022年6月30日

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド

## 総額 37 億円超の「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」 契約締結に関するお知らせ

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド（以下「ミンカブ」、本社：東京都千代田区、代表取締役兼 CEO/CFO：瓜生 憲）は、株式会社三菱 UFJ 銀行（以下「三菱 UFJ 銀行」、本店：東京都千代田区、取締役頭取執行役員：半沢 淳一）との間で、三菱 UFJ 銀行が提供する「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」を通じ、シンジケート方式により総額で最大 37.3 億円の資金調達を可能とする契約を締結したことをお知らせいたします。

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」とは、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）<sup>※1</sup> が策定したポジティブ・インパクト金融原則<sup>※2</sup>、及び実施ガイドに基づき、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資です。

ミンカブは創業来、金融・経済情報分野を中心に、投資家や資産形成層に資する情報やサービスを直接又は間接的に提供しております。また 2021 年にはサステナビリティ経営推進の一環として、環境・社会・ガバナンスの各分野における様々な課題に対して当社が取り組むべきマテリアリティ（重要課題）を、気候変動・人・テクノロジー・金融の 5 つの分野で特定いたしました。

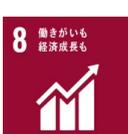
本契約の締結にあたり、インパクトの評価は、三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社が実施し、株式会社日本格付研究所より、ポジティブ・インパクト金融原則への準拠性について第三者評価を取得しております。

本契約では、24 億円のコミットメントラインと、借換のための 13.3 億円のタームローンとを、シンジケート方式により資金調達するものです。これにより、継続した成長を続ける当社の運転資本拡大時のコミットメントライン枠の拡大（現在は 15 億円、未使用）を行うとともに、金利コストの効率化を図り、より強固な財務基盤の構築を実現します。

【本契約の概要】

|               |   |                            |
|---------------|---|----------------------------|
| 契約締結日         | : | 2022年6月27日                 |
| アレンジャー        | : | 三菱UFJ銀行                    |
| コ・アレンジャー      | : | 三井住友銀行                     |
| 組成金額          | : | 37.3億円                     |
| 内訳 コミットメントライン | : | 24.0億円                     |
| タームローン        | : | 13.3億円                     |
| 資金使途          | : | 事業資金                       |
| 貸出人（五十音順）     | : | みずほ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、りそな銀行 |

【インパクトを与えると評価されたミンカブの主な活動テーマと目標】

| テーマ   | 目標とモニタリング項目   | SDGs  |
|---|---|---|
| メディア事業の推進による、人々の金融サービスへのアクセスの拡大、金融市場の発展、人々の健全な資産形成への貢献                          | <b>【目標】</b><br>・2024年3月期以降、全社売上のCAGR40%達成<br><br><b>【モニタリング項目（KPI等）】</b><br>・メディア事業収益   |    |
|   |   |   |
| ソリューション事業の推進による、金融機関等における事業活動の質向上・効率化、人々の金融サービスへのアクセスの拡大、金融市場の発展、人々の健全な資産形成への貢献 | <b>【目標】</b><br>・2024年3月期以降、全社売上のCAGR40%達成<br><br><b>【モニタリング項目（KPI等）】</b><br>・ソリューション事業収益  |  |
|   |   |  |
|   |   |  |
| 多様性のある雇用機会の創出   | <b>【目標】</b><br>・従業員構成に占める男女比率と、管理職に占める男女比率が同程度となることを目指す（現状同程度）<br><br><b>【モニタリング項目（KPI等）】</b><br>・従業員構成に占める男女比率<br>・管理職に占める男女比率 |  |

これらの取り組みの進捗・成果については、ミンカブのホームページにおいて開示する予定です。ミンカブは今後も、「情報の価値を具現化する仕組みを提供する」という経営理念のもと、テクノロジーを活用した新たな情報提供の在り方を実現することで、豊かな社会の構築に貢献してまいります。

※1：国連環境計画(UNEP)は、1972年に「人間環境宣言」および「環境国際行動計画」の実行機関として設立された国連の補助機関です。国連環境計画・金融イニチアティブ(UNEP FI)は、1992年に設立されたUNEPと世界の金融機関によるパートナーシップであり、金融機関、政策・規制当局と協調し、経済的發展とESG(環境・社会・ガバナンス)への配慮を統合した金融システムへの転換を進めています。

※2：UNEP FIが2017年1月に策定した、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた金融の枠組です。企業は達成貢献度をKPIで開示し、融資を行う銀行は指標をモニタリングしインパクトが継続していることを確認します。

#### ■株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドについて (<https://minkabu.co.jp/>)

ミンカブは、日本最大級の資産形成情報メディア「MINKABU (みんかぶ)」及び株式専門情報メディア「Kabutan (株探)」等の運営を通じ、株式をはじめ、暗号資産(仮想通貨)、FX(外国為替)、商品先物、投資信託、保険、不動産など様々な金融商品を対象とした投資情報を提供しています。また、ユーザーの投稿や閲覧のデータを集約して利用するクラウドインプットの仕組みとビッグデータを解析し瞬時にコンテンツを生成するAIを活用しながら、一般投資家のみならず金融機関向けにもソリューションパッケージとして情報の提供を行っています。

社名 : 株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド  
所在地 : 東京都千代田区九段北一丁目8番10号  
設立 : 2006年7月7日  
代表取締役社長 兼 CEO/CFO : 瓜生 憲  
事業内容 : メディア事業、ソリューション事業  
連結子会社 : Prop Tech plus 株式会社、ロボット投信株式会社、株式会社ミンカブアセットパートナーズ、株式会社ミンカブ Web3 ウォレット

#### ■ミンカブグループの運営するメディア一覧

MINKABU (みんかぶ) : <https://minkabu.jp/>

Kabutan (株探) : <https://kabutan.jp/>

Kabutan (株探) 米国株 : <https://us.kabutan.jp/>

みんかぶ Choice : <https://minkabu.co.jp/choice/>

Japan REIT.COM※ : <http://www.japan-reit.com/>

JAPAN PRIVATE REIT.COM※ : <https://www.japan-private-reit.com/>

※：Prop Tech plus 株式会社による運営。

#### 【報道関係お問い合わせ先】

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド

TEL : 03-6867-1570

E-MAIL : [press@minkabu.co.jp](mailto:press@minkabu.co.jp)